

# 町防犯対策についてお聞きします

高坂 恭子 議員 (所要時間44分)

**答** 犯罪の起きにくいまちづくりに取り組むことが重要です

## 町の防犯対策は

**問** 我が多古町はのどかで平穩に毎日を送る町であると思えますが、最近のニュースで報道されるような事件、事故が町にあつてはならないという思いが強く、町の防犯対策についてお聞きします。

**町長** 安心、安全の確保は暮らしや社会経済の原点であり、地域の実態に応じた防犯、安全活動を通じ、希薄化しつつある地域の連帯力の強化を図るとともに、警察、地域および町が連携しながら、犯罪の起きにくいまちづくりに取り組むことが重要です。

## 防犯カメラの活用は

**問** 多種多様な犯罪の解決に非常に有効とされている防犯カメラの設置状況をお聞きします。

**町長** 防犯に配慮した施設として、役場、こども園、図書館、病院および道の駅に防犯カメラ



庁舎内の防犯カメラ

を設置し、施設内での事件、事故防止対策を行っております。公道での設置はありませんが、防犯カメラの設置は防止、抑止に加え、早期解決に向けて非常に有効と考えます。個人情報収集とならないよう、効果的な設置を考え、警察などとも協議を行い、設置に係る指針を策定し、準備を進めているところであります。



今後、安心、安全なまちづくりのため、防犯関係機関と連携を図りながら防犯対策につとめてまいります。

**問** 公用車のドライブレコーダーの設置状況をお聞きします。

**総務課長** 町長・議長の公用車をはじめ防犯パトロール車、こども園バス、研修バス等、合計14台の公用車に取り付けている状況です。

## 防災無線はマンネリになっていないか

**問** 時間になると防災無線から流れる、見守り、パトロール活動の放送がマンネリ化しているように感じるが、住民にさらに喚起する方法はありませんか。

**町長** 定型文で毎日同じアナウンスですが、それゆえに、地域の隅々まで内容が浸透しており、一定の効果があるものと認識しております。

# 再生土埋め立て禁止町条例の制定を急ぐべきではないか

菅澤 博隆 議員 (所要時間60分)

**答** 埋め立て禁止を視野に入れ、条例案の策定に努めていきたい

**問** 再生土埋め立ての禁止条例を。町の多くの場所で再生土による埋め立てが行われています。自然破壊や地下水汚染、栗山川の水質汚染、道路の破損等々、住民から心配する多くの声が寄せられています。町独自の禁止条例を制定すべきと考えますが、町の方針を示してください。

**町長** 現時点の事業数は2事業です。町の再生土による埋め立て行為を規制する条例が無いことから、県の行政方針に基づき監視・指導を行っておりますが、その運用に法的強制力や罰則規定が無いというのが実情です。道路の破損・修復について、特に旧興新小通り(飯笹・西古内線)において路面の傷みが著しい状況であり、5月に舗装修繕工事を発注しました。しかし、原因者が特定できないことから、事業者と道路修繕費を担保することは、規制する条例が無い現状におい

## 助成の見直しを

**問** 今年度から有人ヘリ協同防除が廃止され、個人防除になりました。町の方針は農薬代の10%補助、3年間の時限措置です。これでは以前よりも生産者負担が重く、多古米ブランドが守れません。10アール500円以上の助成と3年間の時限措置を撤廃し、永続的な助成を求めます。

**町長** 薬剤補助については、昨年度と比較し、経費の負担額が大きくならないよう配慮し、当面は10アールあたり上限500円の補助としております。無人ヘリ防除を実施する団体については、運営に係る諸経費の一部として別途手当を交

## 産業経済課長

公平な助成の仕方を守りたいということです。無人ヘリについては、共済組合の情報によれば10アール2000円前後でできるということですから10アール100円の農薬代助成をみれば、生産者負担は1900円となり、

付する予定であり、不足するようであれば補正予算を計上していきたいと考えております。3年間の時限措置については、状況を見ながら継続していくか制度を改正した方がよいか判断してまいりたいと考えています。

**問** 10アール500円以上の助成という明言がありませんでした。散布計画書提出の合計面積が817ヘクタールということから、10アール500円の助成を組んでも当初予算の400万円ではぼ収まるのではありませんか。

公平な助成の仕方を守りたいということです。無人ヘリについては、共済組合の情報によれば10アール2000円前後でできるということですから10アール100円の農薬代助成をみれば、生産者負担は1900円となり、

**問** 放送は交通事故の防止、不審者への抑止力の向上を図るための取り組みとして重要だと思えますが、ある地域は子どもの声で実施している内容をリニューアルしているようですが。

**町長** 私もマンネリだと思っておりますので、もう指示をしました。各小学校の児童、そして中学生、場合によっては高校生というように具体的に指示をしております。楽しみにしていただきたい。

## 不審者メールを高齢者にも

**問** 不審者情報メールは保護者に送ると思いますが、仕事で留守をしている場合が多いと思えます。「多古の子・町の子・みんなの子」というスローガンからも、元気で意欲を持った高齢者も登録して防犯への参加はできませんか。

**学校教育課長** 登録件数に制限があると聞いています。

## 総務課長

総務課の方で主に防災関係で使っているメールですが、不審者情報も含めて、防災無線と併せて発信してまいりたいと思います。

植防を通じた場合、昨年までと同額になります。

**町長** 私が感じましたのは、昨年同様、または昨年より無人ヘリの場合は負担が低いという認識をもっておりましたが、細かい数字については再度精査、検討しまして、多古米を守る、育てる、強くするという方針を貫いてまいりたいと思います。



薬剤防除は欠かせない

※再生土：産業廃棄物や建設汚泥を中間処理施設において、セメントや消石灰等の固化材を混ぜて化学的安定処理したリサイクル資材。